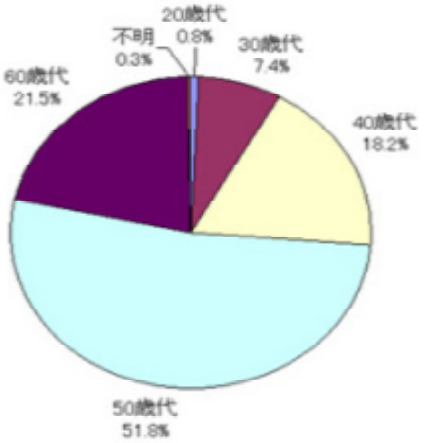
全自交 2008 春闘、生活・労働実態調査

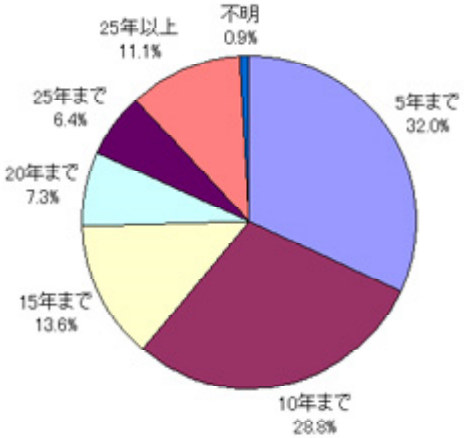
タクシー賃金実態の二極化が進行

2008 年春闘、生活・労働実態調査
グラフ分析：全自交労連の「2008 春闘、生活・労働実態調査」の集計結果がまとまりました。平均年齢は 53.2 歳と昨年よりも 0.5 歳上がりましたが、勤続年数は 11.6 年と逆に短くなり、新たに乗務員となった人たちの高齢化がさらに進んでいることを示しています。
　平均年収では、首都圏などの収入増を反映して全国平均は 5 万 5 千円アップしていますが、東北、北陸、四国、九州など 14 地域では昨年より低下をし、二極化の傾向を色濃く示しています。今年初めて調査をした世帯当たり平均年収は 467 万円で、家族ぐるみでも全産業男子の平均年間所得に及ばないハイタク労働者の生活の厳しさを改めて示しています。

Q1　年齢　平均53．2歳

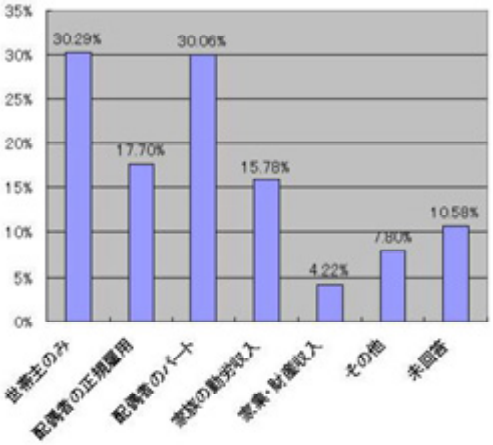


Q2　勤続年数
平均11．6年

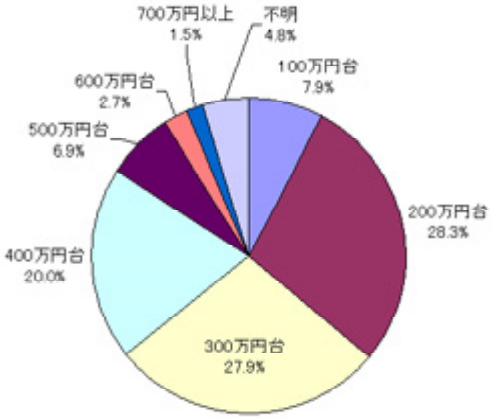


Q3　一ヶ月の生活費
平均218,757円

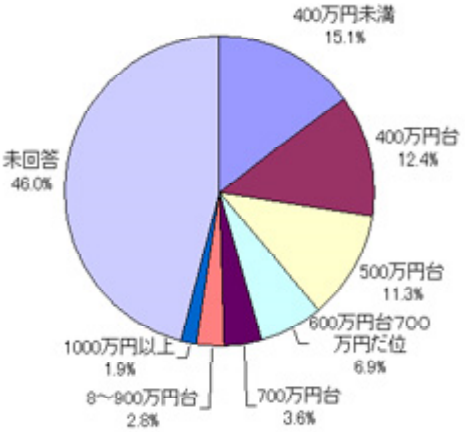
Q4　家計の主な収入源



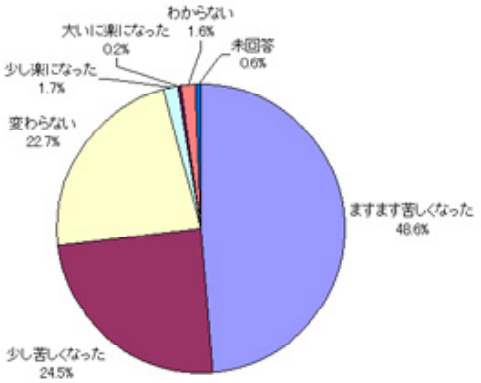
Q5　年間所得
平均3,344,997円



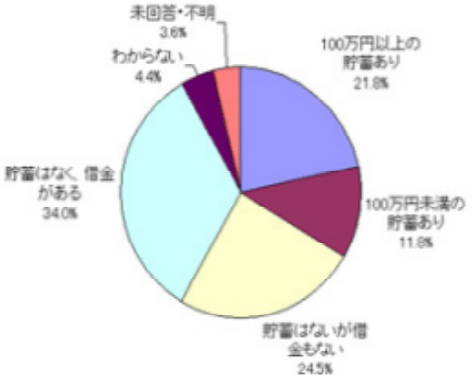
Q6　世帯あたりの年間所得
平均4,667,638円



Q7家計の収支状況

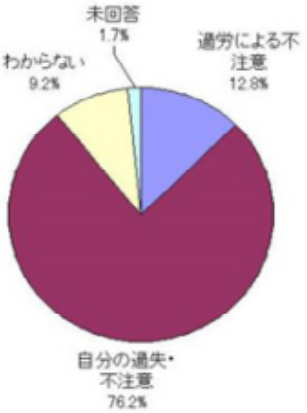


Q8 家計の貯蓄状況

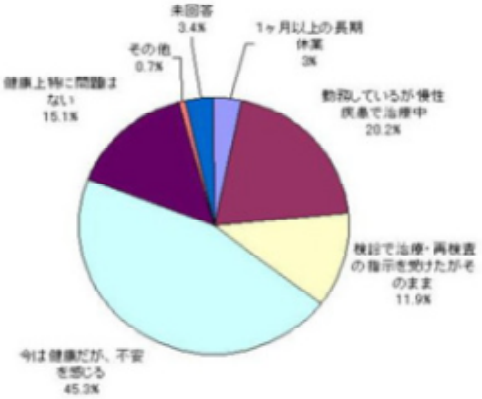


Q9 第一当事者としての事故の有無
平均回数 0．26回

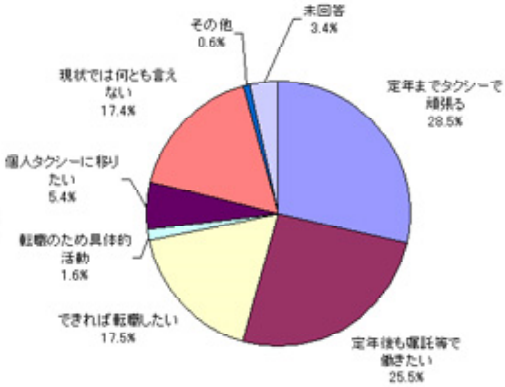
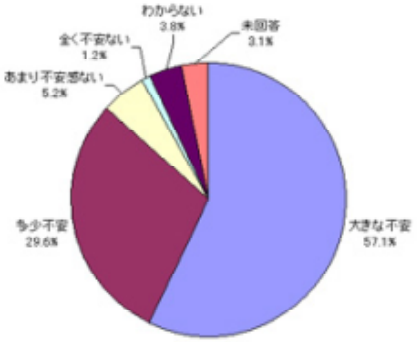
Q10 事故の原因はなんだと思うか



Q11健康状態



Q12 今後もタクシーを続けますか



Q13 定年退職後の展望